



# 東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

## タイ北部のミエンにおける歌と歌謡語（6）： 「五月捨傳出来的歌」の発音，注釈，転生観および 修辞法

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 東京学芸大学教育実践研究推進本部 公開日: 2024-02-07 キーワード (Ja): ミエン, 歌, 歌謡語, 転生観, 修辞法 キーワード (En): Mien, Song, Song Language, Notion of Reincarnation, Rhetoric 作成者: 吉野, 晃 メールアドレス: 所属: 東京学芸大学
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2309/0002000204">http://hdl.handle.net/2309/0002000204</a>

## タイ北部のミエンにおける歌と歌謡語 (6)

——「五月捨傳出来的歌」の発音, 注釈, 転生観および修辞法——

吉 野 晃\*

地域研究分野

(2023年8月30日受理)

### 要 旨

タイ北部のミエン (ヤオ) の許に伝承されている歌とミエン歌謡語語彙の調査の報告の一部である。本稿では、「五月捨傳出来的歌」という物語故事歌のテキストを紹介し、発音と日本語訳を作成した。併せて歌詞に見られる転生観と修辞法の特徴について若干の考察を加えた。

キーワード：ミエン, 歌, 歌謡語, 転生観, 修辞法

### 1. 緒語

これまで幾つかのミエンの歌の歌詞を報告し、発音と注釈を付けてきた。それらは即興歌から定詞歌までかなりのバリエーションがあった。今回紹介するのは、筆者の分類では物語故事歌に相当する歌である。後に述べるように、これはラオスにいたときの実話を基に作られている。

この歌詞は、タイ王国ナーン県ムアン郡ボー区ナムガオ (Nam Ngao) 村に住む鄧貴華氏が書写した歌の写本に載っていたもので、以前発表した「歌二娘歌」<sup>(1)</sup>の後に書かれている。内容は、五月に生まれた娘が悪業非道を行い、両親を困らせ、家を潰し、村人に迷惑をかけるという乱行譚であり、筆者の分類によれば個人の人生を語る物語故事歌である<sup>(2)</sup>。五月生まれの女は悪いという偏見まるだしの差別的な内容であり、露骨な表現が多くあって洗練されたものとは言いがたい。しかし一方で、歴史故事歌には見られないひねった文彩があり、またミエン口語語彙や歌謡語語彙も多用されていて、寧ろミエンの歌の特徴を備えた歌詞となっている。この歌は有名であり、1950年代以前生まれの男性にはよく知られている。また、〈托生〉*thəʔ' seŋ* というミエンの転生観のあり様を示す資料となっている。

### 2. 表記等

発音はIPA (国際音標文字) を用いる。声調は、無：中平, ´：高昇降あるいは高平, `：低平, ˇ：低昇, ˆ：中降, ˘：低昇降で示す。

この歌詞を示すに当たって、判別した限り語彙素性を示すこととした。その凡例は以下の通りである。

1. ミエン口語・歌謡語語彙の宛字または歌詞独自の表記 (音仮名)：ゴシック体 例) 寛由, 月 (太陽の「日」を歌詞では「月」と書くことがある)
2. 漢語由来の語彙であるが現代漢語とミエン語で意味が異なる語彙, あるいは漢字で構成されているが、ミ

\* 東京学芸大学 人文社会科学系 地域研究分野 (184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1)

エン語独自の語彙となっているもの(漢語転義詞):ゴシック体+下線 例)團圓

3. ミエン語化しているが,漢語と同じ意味で使われる字・語彙(漢語借用詞):明朝体 例)萬民  
 4. ミエン語であるが,文字は意味の通じる字を宛てている。訓読(訓字):明朝体+下線 例)丕(音は ja:m)

誤字や宛字と推察される文字は,元々の正しい字と筆者が判断した字に改めた。字体は,実際には民間略字体も多くあるが,正字体(所謂旧字体)に統一した。ミエン語は日本語と同様に漢語語彙を多く借用しており,その読みはミエン語での音読(上記2,3)と訓読(4)があり,複雑である。

フォントにない字を〔 〕で示す。今までは〔A+B〕の形で示したが,Aが偏でその右にBが旁となるのか,A冠の下にBが来るのかが分からなかった。その弊を補うため,以下のような書き方を示す。理解のため,既存の文字で例を示す。

〔A→B〕Aが偏となりBが旁となる偏旁の関係。又は単にAの右隣にBが位置する。例:〔讠→立〕=泣。

〔A↓B〕Aが冠となり,Bが旁となる関係。又は単にAの下にBが位置する。例:〔父↓多〕=爹。

〔A・B〕Aの中にBが入る。例:〔口・玉〕=国,〔門・口〕=問。

〔A×B〕AとBが交差する。例:〔一×丨〕=十

これらの関係は複雑に組み合わせる事もある

〔A→B↓C〕Aが偏となっており,Bの下にCが来て,旁を構成する。〔日→刀↓口〕=昭

ミエン独自の字体の漢字で,類出するものは煩を避けるために以下の様に対応する漢字を□で囲み示した。

〔父↓上〕=爺 □〔戸↓习→犬〕=扇 □〔二↓山〕=出 □〔艹↓讠→ハ↓、↓、〕=烟 □〔飞↓去〕=飛

〔ハ↓フ↓目〕=管 □〔厂↓ノ↓し〕=風 □〔ハ↓一×ノ↓目〕=看

この歌は和本のような袋綴じの本に書かれている。そこで,ページを「丁」で示す。袋綴じにした右面(縦書きの場合)を「~丁表」,左面を「~丁裏」と記す。この歌は以前発表した「歌二娘古」の後に書かれているため,「4丁表」から始まっている。

### 3. 歌詞のテキスト

#### 題名「五月捨傳出来的歌」

m̃ ɿaː(3) siəʔˊ tsunˊ tʰuətˊ ta:iˊ nei dzuŋ

五月生まれの娘の話が伝わった歌

注 siəʔˊ:娘,女の子。「捨」は宛字。

#### 【4丁表】

001 天 慌 返[反] 朝 乱 造 古 乱 傳 世 上 衆 人 知

tʰin hwa:ŋ fa:nˊ tsiuˊ lunˊ tsəuˊ kəuˊ lunˊ tsunˊ seiˊ tsɑ:ŋ tswanˊ niənˊ pei

天の状態が悪くなり,反乱が起きた。その乱を故事歌にする。乱のことが世に伝わり,多くの人が知るところとなった。

注 kəuˊ:故事,故事歌。

002 州[州]廷 敗 慌 官 人 乱 州[州]廷 返[反]敗 謂[爲] 良 民

tsjəuˊ tiŋˊ pa:iˊ hwa:ŋ cuənˊ niənˊ lunˊ tsjəuˊ tiŋˊ fa:nˊ pa:iˊ weiˊ la:ŋˊ ma:nˊ

政府が乱れ,官人が乱を起こした。政府内部が乱れ,それが一般人に及ぶ。

003 肖[省]上 出 官 州[州]廷 乱 竟 中 多 女 敗 家 廷[庭]

seŋˊ tsɑ:ŋˊ tʰuətˊ cuənˊ tsjəuˊ-tiŋˊ lunˊ winˊ twanˊ toˊ niəuˊ pa:iˊ caˊ tiŋˊ

県でも官人同士が対立し,行政が乱れた。家の中に女性が多いと家族が乱れる。

注 seŋˊ:県。tʰuətˊ cuənˊ:官人同士が対立する。

【4丁裏】

- 004 府上官多出怪古 婚姻配錯養妖精  
 fəu'-tsa:ŋ' cuan to tshuət' kwai'-kəu' huən-in p'hi' tshə?' juŋ' yau tsɿŋ  
 郡に官人が多いと怪しげな話が多く出てくる。結婚の組み合わせを間違えると、怪物が生まれる。  
 注 fəu' : 郡。kwai'-kəu' : 怪しげな話。juŋ' : 産む。yau tsɿŋ : 怪物, 邪鬼。
- 005 則[測] 作苗丹命丕变 当家养女能妖精  
 dza?' tsu?' miu' ta:n meŋ' ja:m' pen' tɔŋ ca: juŋ' nəu' ŋaŋ' jau tsɿŋ  
 考えるに、私の命運はよろしくなかった。結婚して生まれた娘は怪物の様だ。  
 注 dza?' : 考える, 思う。miu' ta:n : 男性の一人称単数 (歌謡語)。後で見るように、この歌では女性の一人称単数にも用いている。pen' : 好い。好くなる。tɔŋ ca : 結婚する。ŋaŋ' : ~のようである。
- 006 入庙投胎进娘肚 路上难行[イ→費][費]了心  
 piə?' miu' da:u' tshoi tsan' ŋa:ŋ' təu' ləu'-tsa:ŋ' na:n' heŋ' fei' liu' fiəm  
 子が生まれる前に廟へ行き、受胎することを願った。すると妻のお腹に子供が入った。お腹に子供を宿しているの、何処へ行くのも難しい。心は色々と考えて愁えている。  
 注 ŋa:ŋ' : 口語では「娘」だが、歌謡語では「母 (又は妻)」を指す。fei' liu' fiəm : 色々と考えて愁える。
- 007 六甲上身梱[困]娘煨 野狸报怪到门前  
 luə?' ca:p' tsə:ŋ' sian' k'huən' ŋa:ŋ' jiə?' çia' lei' po' kwai' tshə' muən' tsin'  
 身に胎児を宿していることの苦勞を妻は憂える。野狸が、怪事が門前まで来ていると言う。  
 注 luə?' ca:p' : 胎児。
- 008 桃源[源] 花開月子到 又怕利刀来架心  
 to' ŋuən' k'wa: goi' ŋut' tsei' tshə' jəu' dziə' lai' to' tai' ca' fiəm  
 桃源の花が開き、時が到った。鋭い刀が来て心臓を切ることを恐れる。  
 注 ミエンの世界観では、子供は〈桃源洞〉というところの花がこの世に生まれ落ちたものとされる。〈花〉で子供の意味となる。ŋut' tsei' : 予定の日、日程。歌詞ではŋut' (日)を「月」と書く。但し、後に見るように、「月」の意味でも、ŋut' と発音することがある。
- 009 嚇得 爺娘臊[操]心乱 作得許神担保娘  
 he?' tu?' jiə' ŋa:ŋ' tsho' fiəm lun' tsu?' tu?' həu'-tsiən' da:m-pu' ŋa:ŋ'  
 父母を脅して心を乱れさせる。神に願掛けして妻を護ってもらわなければならない。  
 注 jiə' ŋa:ŋ' (爺娘) : 父母, 両親。
- 010 無計請師許神愿 陸[六] 甲现齐慢谢恩  
 məu' cei' tshiq' sai həu'-tsiən' ŋun' luə?' ca:p' çin' dzo'i' ma:n' tsia'-en  
 他に何もできないので、祭司に頼んで神に願掛けした。子供を産み、後でゆっくり謝恩する。  
 注 çin' dzo'i' (現齐) : 生まれる。

【5丁表】

- 011 邦叩许神有灵圣 吹生六甲正團圓  
 paŋ-k'au' həu'-tsiən' ma:i' liŋ' siŋ' tshwi seŋ luə?' ca:p' tsɿŋ' tun' jun'  
 神に頼り願掛けすると靈験があった。神の助けで胎児が生じ、円満に育った。  
 注 paŋ-k'au' : 頼る。
- 012 六甲现齐欠神愿 借錢借賑射[謝]神恩  
 luə?' ca:p' çin' dzo'i' c'hiəm' tsien' ŋun' ka' tsin' ka' tsə:ŋ' tsia'-tsien' en  
 子供が生まれたが、願掛けの謝恩が必要であった。借金し、物を借りて神恩に感謝した。

- 013 朝々守在家**覓**伏 怕出門前**風****扇**花  
tsiu tsiu sjəu' tsoi' ca: win' puə?' dzia' ts'uat' muən' tsin' pwaŋ sin' k'wa:  
毎日昼間は家にいて子供を抱く。外出すると風が子供に障るのではないかと恐れる。
- 014 **神**愿謝清**奈**心代[帶] **春**耕抛散代[帶]花**枣**[央]  
tsien' jun' tsia' ts'hiŋ' noi' fiəm ta:i' ts'un-keŋ beu dza:n' ta:i' k'wa: ja:ŋ  
願掛けの謝礼儀礼を終え、満足して子供を抱く。畑に行くのはやめて、子供を抱く。  
注 noi' fiəm: 満足して。心を尽くして。ts'un' keŋ: 耕作, 農耕。k'wa: ja:ŋ: 花の芽。子供の比喩。
- 015 行去路头怕**風****扇** 又怕**花**魂落路边  
heŋ' c'həu' lau'-tau' dzia' pwaŋ sin' jəu' dzia' k'wa: uən' lo?' lau' pin  
路を行くと、風が吹いて子供に障ることを恐れる。また、子供の魂が路傍に落ちてしまうことを恐れる。  
注 k'wa: uən' lo?: 子供の魂が落ちる。ミエンの世界観では、人には七つの〈魂〉と三つの〈魄〉があるが、これらの〈魂〉〈魄〉は人体から離れることがあり、それによって体調不良が起きたりする。
- 016 行去路头怕**月**[月+西][晒] 又怕[虫→食][虫→口口↓旭]吞死兒  
heŋ' c'həu' lau' tau' dzia' put' sa:i' jəu' dzia' muŋ'-nai' t'a:m fei' nei'  
路を行くと、陽光に晒されるのを恐れる。また、蚊に刺されて子供が死ぬことを恐れる。  
注 muŋ'-nai': 蚊。put' (月): 陽光の意味であるが、歌詞に書くときには「月」の字を書く。t'a:m (吞): 「飲む」という意味もあるが、歌謡では「食べる」意味に用いる。
- 017 **風**来**便**把娘身伏 **雨**来又把**姐**娘這[遮]  
pwaŋ ta:i' pin'-pa: ja:ŋ' sion puə?' həu' ta:i' jəu' pa: tsia'-ja:ŋ' dzia  
風が吹いてくると母は風を避けるように子供を抱く。雨が降ってくると父母は子供を庇う。  
注 həu': 歌謡語では雨を həu' と発音する。tsia'-ja:ŋ' (姐娘): この歌の中では「姐娘」で「父母」を意味する。
- 【5丁裏】
- 018 第三**紅**花命里[理]醜 五月内中出世**修**  
tai' fa:m hoŋ' k'wa: meŋ' lei' ts'hiəu' ŋ' put' noi' twaŋ ts'uat' sei' fjəu  
第三の娘は運命がよろしくない。五月中に生まれてきた。  
注 fjəu: ①仕事する。生活する。②治める。③ (ルールを) 遵守する。
- 019 六路尋男来入**赦** 百路尋**穷**不对**修**  
luə?' lau' tsiam' na:m' ta:i' piə?' siə' pe?' lau' tsiam' cwaŋ' ja:m' toi' fjəu  
あらゆる所で入婿してくれる男を探した。色々な所を尋ね尽くしたが、夫になる人は見つからない。  
注 luə?' lau': どこでも、あらゆる所。piə?' siə': 入婿する。pe?' lau': 色々な所。toi': 夫婦になる。
- 020 **通**念男**彪**不对**作** 娶**作**冤家**对**纏**乔**[橋]  
t'hoŋ' nim' na:m' lwaŋ' ja:m' toi' tsu?' c'i' tsu?' win' ca: toi' dzen' cəu'  
目上を大切にしている男性はなかなか見つからない。以前対立していた家の者を夫とすると、似合いの夫婦になった。  
注 t'hoŋ' nim': 崇め尊敬する。愛する。na:m' lwaŋ': 男性, 婿。win' ca: : 敵対者, 対立者。toi' dzen' cəu' (对纏橋): 仲の良い夫婦の喩え。
- 021 丙申年間二月内 **投**人入**赦**秀家**廷**[庭]  
peŋ'-sien nin-ken nei' put' noi' da:u' niən' piə?' siə' fjəu' ca: tiŋ'  
丙申年二月のうちに、人に頼んで入婿してもらい、家族を営んだ。  
注 fjəu': (家事を) 営む。

- 022 入 赦 不 有 兩 三 日 出 冤 出 枉 到 官 堂  
 piəʔ˦ siə˦ ja:m˦ ma:i˦ ljaŋ˦-fa:m˦ niət˦ tsʰuət˦ win˦ tsʰuət˦ waŋ˦ tʰau˦ cuən˦ tɔŋ˦  
 入婚して二、三日も経たないうちに喧嘩して関係がこじれ、役所に持ち込むこととなった。  
 注 tsʰuət˦ win˦ tsʰuə˦ twaŋ˦ : 関係がこじれる。
- 023 入 到 官 堂 難 分 断 郷 老 衆 人 分 拿 言  
 piəʔ˦ tʰau˦ cuən˦ tɔŋ˦ na:n˦ pun˦ tun˦ ɕa:ŋ-lə˦ tswaŋ˦ niən˦ pun˦ pʰa:i˦ nim˦  
 役所に紛争案件を持ち込んだが、判断するのが難しい。村の長老達や村人たちが事に対して判断を下した。  
 注 pun˦ pʰa:i˦ : 断を下す。
- 024 愿 領 投 衍 在 入 赦 礼 儀 行 前 六 裡 [禮] 通  
 juən˦ leŋ˦ da:u˦ hɔŋ˦ tsɔi˦ piəʔ˦ siə˦ lei˦ nei˦ heŋ˦ tsin˦ luəʔ˦ lei˦ tʰoŋ˦  
 その後、夫が謝って再び入婚することを願った。予め、礼儀規範に基づき事前に娘の父母へ若干の金を贈った。  
 注 juən˦ leŋ˦ : 謝る。da:u˦ hɔŋ˦ : 頼む、願う。lei˦ nei˦ (礼義) : 世俗的規範と異なる儀礼的規範。heŋ˦ tsin˦ : 予め。  
 luəʔ˦ lei˦ thoŋ˦ : 規範の細則。ここでは具体的に「若干の金を贈ること」。

【6丁表】

- 025 礼 京 並 明 三 百 六 十 [刀・二] 手 上 無 錢 来 对 清  
 lei˦-kiŋ˦ pin˦ meŋ˦ fa:m˦ pɛʔ˦ luəʔ˦ tsɔp˦ lun˦ sjəu˦ tsɑ:ŋ˦ məu˦ tsin˦ tai˦ tɔi˦ tsʰiŋ˦  
 結納金は360ルンと決まり、言明された。しかし、婿は無一文で来て、払わなかった。  
 注 lei˦-kiŋ˦ : 結納金。聘財。pin˦ : 告げる、伝える。tɔi˦ tsʰiŋ˦ : 清算する。
- 026 得 見 鷄 阡 [簽] 报 有 怪 嚇 作 二 人 心 熯 憂  
 tuʔ˦ kin˦ cai˦ tsʰim˦ poʔ˦ ma:i˦ kwai˦ heʔ˦ tsuʔ˦ nei˦ niən˦ fiəm˦ jiəʔ˦ jəu˦  
 鷄骨占いは好くない事が起こると告げていた。脅かされて、二人の心は憂えた。  
 注 cai˦ tsʰim˦ : 儀礼の供物となった鷄の脚の骨の穴に2本の楊枝を差して、その向きなどで運勢を占う。
- 027 两 边 自 從 折 [拆] 元 [縁] 忿 婚 姻 折 [拆] 散 各 行 迳 [遊]  
 ljaŋ˦ pin˦ tsei˦ tsɔŋ˦ tsʰɛʔ˦ jun˦ puən˦ huən-in˦ tsʰɛʔ˦ ɕza:n˦ koʔ˦ heŋ˦ jəu˦  
 二人は自ら縁を切り、別々に分かれた。結婚してから分かれてしまうと、各々別の道を行くことになる。  
 注 puən˦ : 分かれる。
- 028 郷 老 面 前 分 拿 了 不 以 两 边 桥 纏 桥  
 ɕa:ŋ˦ lo˦ min˦ tsin˦ pun˦ pʰa:i˦ liu˦ ja:m˦ ji˦ ljaŋ˦ pin˦ cəu˦ ɕzen˦ cəu˦  
 (二回目の判断) 村の長老は人々の面前で、二人が一緒にいることはできないと断を下した。  
 注 cəu˦ ɕzen˦ cəu˦ (橋纏橋) : 「共に愛し合う」の比喩。ここでは「よりを戻す」。
- 029 若 还 两 边 桥 纏 杵 前 後 返 [翻] 心 衆 管 知  
 jəu˦ wa:n˦ ljaŋ˦ pin˦ cəu˦ ɕzen˦ tsəu˦ tsin˦ ho˦ fa:n˦ fiəm˦ tswaŋ˦ kun˦ pei  
 もし、二人が再び一緒になろうとしても、その後、心変わりすることは皆知っている。  
 注 jəu˦ wa:n˦ : もし。cəu˦ ɕzen˦ tsəu˦ (橋纏杵) : 橋纏橋 (cəu˦ ɕzen˦ ceu˦) に同じ。tsəu˦ : ①木。②暮らす、行う。  
 kun˦ : 知る、考える。
- 030 今 世 年 間 桥 纏 杵 無 人 分 断 兩 人 言  
 ciem˦ sei˦ nin-ken˦ cəu˦ ɕzen˦ tsəu˦ məu˦ niən˦ pun˦ tun˦ ljaŋ˦ niən˦ ŋin˦  
 現在、よりを戻そうとしても、それに対して兩人に断を下す者がいない。  
 注 ciem˦ sei˦ nin-ken˦ : 現在。

- 031 幸[辛]苦 銀 錢 不 得 使 不 得 三 分 手 上 取  
 fiəm-kʰəuː ɲa:nː tsinː ja:mː tu?ː sa:iː ja:mː tu?ː fa:m puən sjəuː tsɑ:ŋː sjəu  
 子育ての苦勞の錢 (= 結納金) も払われない。少しも手元に入らない。  
 注 fa:m-puən : 少し。

## 【6丁裏】

- 032 幸[辛]苦 爺 娘 不 得 飲 抛 爺 抛 姐 去 人 覓  
 fiəm-kʰəuː jiəː ɲa:ŋː ja:mː tu?ː jiəmː beu jiəː beuː tsiaː cʰəuː ɲiənː winː  
 苦境にある父母は食べることができない。(娘は) 父を捨て、母を捨てて、他人の家に婚入する。  
 注 jiəmː : 意味は「飲む」であるが、歌謡語では「食べる」意味になる。tsiaː : 姉の意味だが、ここでは「母」を意味する。

- 033 打 罵 娘 人 趕 早 死 呪 爺 早 死 得 欢 逢[遊]  
 taːː maːː ɲa:ŋː ɲiənː ka:nː dʒəuː feiː tsjəuː jiəː dʒəuː feiː tu?ː juən-jəuː  
 (娘は) 自らの母を罵り、母を早死にさせる。更に父を罵る。その結果父が早死にすれば嬉しい。  
 注 tsjəuː (呪) : 罵る。juən-jəuː : 嬉しい。

- 034 費 得 爺 人 归 陰 路 送 过 紫 眉 不 以 归  
 feiː tu?ː jiəː ɲiənː kwei jiəm ləuː fuŋː ciəː tsɿː meiː ja:mː jiː kwei  
 何故父は死んだのか。魂を(あの世に)送って帰らせない。  
 注 feiː tu?ː : 何故。kwei jiəm ləuː : 死ぬ。tsɿː meiː : 魂魄。

- 035 百 姓 良 民 乖 过 管[官] 养 出 女 花 恶 过 娘  
 pɛ?ː fiŋː la:ŋː ma:nː kwai ciəː kunː juŋː tʰuətː ɲəuː kʰwa: ɔ?ː ciəː ɲa:ŋː  
 一般人民は政府より賢い。母親は娘を産んだが、それは母より悪い女であった。  
 注 kwei : 賢い。

- 036 千 边[般] 不 伏 妖 精 女 請 人 造 意 廣 傳 天  
 tsʰin-piən ja:mː puə?ː jau tsij ɲiəuː tsʰij ɲiənː tsəuː eiː caŋː tsunː tʰin  
 どうしても怪物のような女を好きになれない。人に頼んで歌を書いてもらい、(その女の性格の悪さを) 天下に知らせた。  
 注 tsinː piən : どうして。puə?ː : 好く。tsəuː eiː : 文章・歌を書く。

- 037 世 上 人 多 細 慢 听 細 想 苗 言 傳 报 知  
 seiː tsɑ:ŋː ɲiənː to faiː ma:nː tʰijː faiː faŋː miuː ɲinː tsunː buəː pei  
 世の中の人々は、細かく知った。良く考えると、私の言葉が天下に伝わり、人々の知るところとなる。

- 038 當 家 配 元[縁] 养 男 女 五 月 紅 花 冤 代[帶] 勞  
 tɔŋː ca: pʰuiː junː juŋː na:mː ɲəuː mː ɲutː hoŋː kʰwa: miənː ta:iː la:uː  
 結婚して因縁が合って息子や娘が生まれた。五月娘はあちこちに怒り(諍い)をもたらず。  
 注 miənː : 激怒する。ta:iː la:uː : もってゆく、連れて行く。

## 【7丁表】

- 039 五 月 紅 花 重 喪 仔 养 得 三 喪 奏 敗 覓  
 mː ɲutː hoŋː kʰwa: doŋː foŋː cweiː juŋː tu?ː fa:m foŋː tsɑ:uː pa:iː winː  
 五月生まれの娘は「重喪」日のような悪しき子である。「三喪」日のような子が生まれ、家を潰す。  
 注 doŋː foŋː (重喪), fa:m foŋː (三喪) : いずれも占い暦の本『通書』に載っている凶日のこと。重喪は「百事凶。…この日に家を建て始めると、完成前に死者が出る」とされ、三喪は「百事凶。…信じない(でこの日に事を行う)と、死者が三人出る」とされる。

- 040 養 作 吾 高 板 木 晒 会 吃 爺 娘 父 母 屍  
 jun˥ tsuʔ˥ m˥ ku pen˥ muə˥ sa:i˥ wui kʰiʔ˥ jiə˥ na:ŋ˥ puəʔ˥ məu˥ sei  
 棺桶を晒す吾高鬼が生まれた。父母を食べてしまうこともできる。  
 注 m˥ kəu˥ : 「吾高鬼」という鬼神。pen˥ muə˥ : 棺, 柩。
- 041 養 得 妖 精 冤 枉 劍 返[反]敗 家 廷[庭] 万 吾 覓  
 jun˥ tuʔ˥ yau tsɿŋ win˥ waŋ˥ ciəm˥ fa:n˥ pa:i˥ ca: tin˥ ma:n˥ sei˥ win˥  
 怪物を産むと喧嘩の剣となる。何代も続いた家を潰す。  
 注 ma:n˥ sei˥ win˥ : 何代も続いた家。
- 042 運 氣 不 通 養 出 怪 養 作 冤 家 来 敗 覓  
 uən˥ cʰiə˥ ja:m˥ tɔŋ jun˥ tsʰuət˥ kwai˥ jun˥ tsuʔ˥ win˥ ca: tai˥ pa:i˥ win˥  
 運気が好くないと、怪物を産む。産まれると、敵対者となり、家を滅ぼす。
- 043 早 朝 家 覓 不 敬 聖 無 神 吹 賜 托 男 花  
 dzəu˥ tsiu ca: win˥ ja:m˥ keŋ˥ siŋ˥ məu˥ tsien˥ tsʰwi tsʰei˥ tʰəʔ˥ na:m˥ kʰwa:  
 以前は家で神を祀らなかったで、男子を再生させてくれる神はいなかった。  
 注 dzəu˥ tsiu˥ : 以前。前日。swi tsʰei˥ : (神が) 恩恵・加護を与える。tʰəʔ˥ : 転生する。ミエンの世界観では、人間の魂は死後九代を経ると、転生するという。転生することを tʰəʔ˥ seŋ (托生) という。
- 044 當 天 架 橋 求 男 女 托 得 妖 精 咭[古] 怪 場[傷]  
 tɔŋ˥ tʰin ca:˥ cəu˥ cəu˥ na:m˥ nəu˥ tʰəʔ˥ tuʔ˥ yau tsɿŋ ku˥ kwai˥ tsʰuŋ  
 當天架橋儀礼を行い、息子や娘を求めたが、怪物のような傷神が托生して産まれた。  
 注 tɔŋ˥ tʰin : 中空にいる〈玉帝〉という神に向けた祈願儀礼。ku˥ kwai˥ : 心の悪い。tsʰuŋ : 傷神という悪神。
- 045 一 年 三 百 六 十 日 十 月 丕 求 八 月 求  
 jiet˥ nin fa:m peʔ˥ luəʔ˥ tsiep˥ niət˥ tsiep˥ nut˥ ja:m˥ cəu˥ peʔ˥ nut˥ cəu˥  
 一年は360日あるが、十月に子供を求めず、八月に求めてしまった。

【7丁裏】

- 046 八 月 求 花 上 身 内 五 月 浮 陽 敗 了 覓  
 peʔ˥ nut˥ cəu˥ kʰwa: tsə:ŋ˥ siən noi˥ m˥ nut˥ bjəu˥ ja:ŋ˥ pa:i˥ liu˥ win˥  
 八月に子供を求め、懐妊した。五月に生まれて家を滅ぼすことになった。  
 注 bjəu˥ ja:ŋ˥ : 生まれる。
- 047 五 月 場[傷]神 出 世 日 心 中 不 曉 怕 金 花  
 m˥ nut˥ tsʰuŋ tsien˥ tsʰuət˥ sei˥ niət˥ fiəm-twa ja:m˥ çiu˥ dziə˥ ciəm kʰwa:  
 五月は傷神(娘のこと)の誕生日である。親は生まれたのが傷神であるとは心にも知らず、金花になるだろうと期待した。  
 注 çiu˥ : 知る。
- 048 當 家 現 花 弟[第] 一 朶 弟[第] 二 浮 来 难 当 金  
 tɔŋ˥ ca: çin˥ kʰwa: tai˥ jiet˥ to˥ tai˥ nei˥ bjəu˥ tai˥ na:n˥ tɔŋ ciəm  
 結婚して第一子を生んだ。第二子も生まれたが、芳しくない。  
 注 na:n˥ tɔŋ˥ ciəm : 金のようにはなりがたい、芳しくない。
- 049 洛[落]地 三 朝 真 是 念 真 心 廣 活[闊] 代[帶] 勞 花  
 loʔ˥ tei˥ fa:m tsiu tsʰien tsei˥ nim˥ tsʰien-fiəm caŋ˥ jiet˥ tai˥ i˥ la:u˥ kʰwa:  
 出生して3日経ち、親は子をいとおしむ。子を愛する心は広く、子供を連れて歩く。  
 注 loʔ˥ tei˥ : 生まれ落ちる。tsʰien-fiəm : 愛する心。



- 050 卦[掛] 在 娘 身 怕 好 色      卦[掛] 在 遠 床 泪 献 啼  
 kwa:˥ tsɔi˥ na:ŋ˥ siən dzɔ˥ kʰu˥ set˥      kwa:˥ tsɔi˥ win˥-tsoŋ˥ lwei˥ kwɪn˥ siŋ  
 子供を背負うと好い様子に見えるだろう。ちょっと遠い床に寝かすと、泣き出してしまう。  
 注 kwɪn˥: 声を出して泣く。
- 051 夫 妻 二 人 奈 心 代[帶]      抛 慌 己[幾] 步 代[帶] 花 兒  
 fəu-tʰai˥ nei˥ niən˥ noi˥ fiəm˥ ta:i˥      beu hwa:ŋ˥ tsɔ˥ pəu˥ ta:i˥ kʰwa: nei˥  
 夫婦二人で心を尽くして連れ歩く。他の事は何事も放っておき、子供を連れ歩く。  
 注 beu hwa:ŋ˥ tsɔ˥ pəu˥: 何事も放っておく。

- 052 百 羨[様] 抛 慌 也 誰[隨] 便      抛 男 代[帶] 女 嫩 心 飢  
 peʔ˥ jaŋ˥ beu hwa:ŋ˥ ja˥ swei˥ pin˥      beu na:m˥ ta:i˥ nəu˥ nun˥ fiəm-cei  
 どのようなものでも放っておきそのままである。息子は置いておき、娘を連れ歩くと安心する。  
 注 swei˥ pin˥: 好きなようにする。そのままにする。nun˥ fiəm-cei: 安心する。

## 【8丁表】

- 053 今 世 年 間 不 听 話      血 盆 刹[殺] 死 滿 心 肌  
 ciəm sei˥ nin-ken˥ ja:m˥ tʰiŋ˥ wa˥      çut˥ pun˥ set˥ fei˥ miən˥ fiəm-cei  
 今は人の話を聞かない。生れたてのときに殺しておけば安心だった。  
 注 çut˥ pun˥ (血盆): 胎盤。ここでは転じて出生直後の孩児のことを指す。
- 054 早 曉 能 諾 不 听 話      不 想 當 初 父 母 恩  
 dzəu˥ çiu˥ ŋaŋ˥ no˥ ja:m˥ thiŋ˥ wa˥      ja:m˥ faŋ˥ tɔŋ˥ tso˥ puəʔ˥ məu˥ en  
 以前そのように知っていたのだが、人の話を聞かなかった。以前は父母の恩を考えなかった。  
 注 ŋaŋ˥ no˥: このように、このような。
- 055 千 边[般] 苦 情 改 不 轉      己[幾] 多 辛 苦 代[帶] 花 兒  
 tʰin-piən˥ kʰəu˥ tsin˥ koi˥ ja:m˥ dzuən˥      tsɔ˥ tso˥ fiəm-kʰəu˥ ta:i˥ kʰwa: nei˥  
 あらゆる子育ての苦労はそのまま返ってこない(報われない)。多くの苦労をして子供を連れ歩く。
- 056 五 月 养 捨 罪 逆 重      养 来 天 底 打 冤 家  
 ŋ˥ put˥ juŋ˥ siəʔ˥ tswi˥ nip˥ tsoŋ˥      juŋ˥ ta:i˥ tʰin˥ diə˥ ta˥ win˥ ca˥  
 五月に娘を生むのは罪が重い。生まれ出ると、世の中に対立・紛争をもたらす。  
 注 siəʔ˥: 女子, 娘。tswi˥ nip˥: 罪。ta˥ win˥ ca˥: 対立する。紛争する。
- 057 天 罗 八 敗 随 身 去      不 以 行 鄉 重 變 人  
 tʰin˥ lo˥ pet˥ pa:i˥ dzwei˥ siən˥ cʰəu˥      ja:m˥ ji˥ heŋ˥ çə:ŋ˥ tsoŋ˥ pen˥ niən˥  
 天羅八敗鬼はどこへ行ってもついてくる。何処へ行こうと何をしてもまともな人にはなれない。  
 注 tʰin˥ lo˥ pet˥ pa:i˥: 「天羅八敗」(天の網を八回破る) という名の悪い鬼神。
- 058 踏 入 那 竟 正 見 敗      不 怕 家 毫[豪] 重 敗 慌  
 dap˥ piəʔ˥ ja:i˥ win˥ tsin˥ kin˥ pa:i˥      ja:m˥ dzɔ˥ ca˥ hau˥ tsoŋ˥ pa:i˥ hwa:ŋ˥  
 どのような家でも娘が入ると、家を傾かせてしまう。栄えた家も必ず衰えるだろう。  
 注 ja:m˥ dzɔ˥: 確かに、間違いなく、必ず。ca˥ hau˥: 栄えた家。
- 059 不 重 罽 娘 辛 苦 意      又 把 冤 家 对 面 相  
 ja:m˥ tsoŋ˥ jiə˥ na:ŋ˥ fiəm-kʰəu˥ ei˥      jəu˥ pa˥ win˥ ca˥ tɔi˥ min˥ fa:ŋ˥  
 父母の苦労の意を重んじない。また、以前の敵対者同士(母と娘)を再び対面対立させる。

【8丁裏】

- 060 番瓜路龙度有聡[種] 後歩花児[看] 羨[様] 修  
 fan<sup>ˈ</sup> kwa: lau<sup>ˈ</sup> lwaŋ<sup>ˈ</sup> təu<sup>ˈ</sup> ma:i<sup>ˈ</sup> tswaŋ ho<sup>ˈ</sup> pəu<sup>ˈ</sup> k<sup>h</sup>wa: nei<sup>ˈ</sup> k<sup>h</sup>a:n<sup>ˈ</sup> jaŋ<sup>ˈ</sup> fjeu  
 瓜の蔓が伸び、探して種子を得る。後に親子の仲が悪いことが代々似てくる。  
 注 lau<sup>ˈ</sup> lwaŋ<sup>ˈ</sup>: 蔓。ho<sup>ˈ</sup> pəu<sup>ˈ</sup>: 後に、後で。
- 061 孫世良心分一羨[様] 恩情抛下水堆慌  
 fun sei<sup>ˈ</sup> la:ŋ<sup>ˈ</sup> fiəm pun jiet<sup>ˈ</sup> jaŋ<sup>ˈ</sup> en tsiq<sup>ˈ</sup> beu jia<sup>ˈ</sup> swi<sup>ˈ</sup> t<sup>h</sup>ui<sup>ˈ</sup> hwa:ŋ  
 孫の代になっても良心は同様になる。(しかし現状では) 恩情を水に押し流し、捨ててしまった。
- 062 仔世良心使醜了 孫世良心分便歪  
 cwei<sup>ˈ</sup> sei<sup>ˈ</sup> la:ŋ<sup>ˈ</sup> fiəm sa:i<sup>ˈ</sup> t<sup>h</sup>jeu<sup>ˈ</sup> liu<sup>ˈ</sup> fun sei<sup>ˈ</sup> la:ŋ<sup>ˈ</sup> fiəm pun pin<sup>ˈ</sup> wai<sup>ˈ</sup>  
 子の代では良心は醜く使うようになってしまった。孫の代には良心は歪んだものが与えられた。
- 063 謂[爲]頼女花作洛癱[落難] 正来寿寡能諾愁  
 wei<sup>ˈ</sup> la:i<sup>ˈ</sup> ŋəu<sup>ˈ</sup> k<sup>h</sup>wa: tsu?<sup>ˈ</sup> lo?<sup>ˈ</sup> na:n<sup>ˈ</sup> tsiq<sup>ˈ</sup>-ta:i<sup>ˈ</sup> sjəu<sup>ˈ</sup> kwa:<sup>ˈ</sup> ŋaŋ<sup>ˈ</sup> nɔ<sup>ˈ</sup> dzau<sup>ˈ</sup>  
 何故なら、娘が困難を起こして父が死んだから。(母親が) 一人だけ年を取るのは悲しいだろう。  
 注 wei<sup>ˈ</sup> la:i<sup>ˈ</sup>: なぜなら～だから。
- 064 無人養捨能諾毒 苗丹養捨吃[爺] 娘  
 məu<sup>ˈ</sup> ŋiən<sup>ˈ</sup> juŋ<sup>ˈ</sup> siə?<sup>ˈ</sup> ŋaŋ<sup>ˈ</sup> nɔ<sup>ˈ</sup> to?<sup>ˈ</sup> miu<sup>ˈ</sup> ta:n juŋ<sup>ˈ</sup> siə?<sup>ˈ</sup> k<sup>h</sup>i?<sup>ˈ</sup> jia<sup>ˈ</sup> ŋa:ŋ<sup>ˈ</sup>  
 このように毒のような娘を産んだのは他には誰もいない。私が産んだ娘が父母を食ってしまう。  
 注 miu<sup>ˈ</sup> ta:n: (歌謡語) 本来男性の一人称単数代名詞だが、ここでは母親が自分のことを指している。
- 065 人家養捨成林杵 五月紅花改変男  
 ŋiən<sup>ˈ</sup> ca: juŋ<sup>ˈ</sup> siə?<sup>ˈ</sup> tsjaŋ<sup>ˈ</sup> liəm<sup>ˈ</sup> tsəu<sup>ˈ</sup> ŋ<sup>ˈ</sup> ŋut<sup>ˈ</sup> hoŋ<sup>ˈ</sup> k<sup>h</sup>wa: koi<sup>ˈ</sup> pen<sup>ˈ</sup> na:m<sup>ˈ</sup>  
 一般に人の家では娘を生むと良く育つ。普通は五月の娘は胎内にいるときに男性に変わる。  
 注 tsjaŋ<sup>ˈ</sup> liəm<sup>ˈ</sup> tsəu<sup>ˈ</sup>: 林が茂る。転じて、よく育つ、立派に育つの意味。
- 066 一又紅花丕変尽 二味[爲] 男龙悪毒人  
 jet<sup>ˈ</sup> jəu<sup>ˈ</sup> hoŋ<sup>ˈ</sup> k<sup>h</sup>wa: ja:m<sup>ˈ</sup> pen<sup>ˈ</sup> tsjən<sup>ˈ</sup> nei<sup>ˈ</sup> wei<sup>ˈ</sup> na:m<sup>ˈ</sup> lwaŋ<sup>ˈ</sup> o?<sup>ˈ</sup> to?<sup>ˈ</sup> ŋiən<sup>ˈ</sup>  
 一つには娘がよろしくない。二つ目には、婿が毒悪な人であった。  
 注 ja:m<sup>ˈ</sup> pen<sup>ˈ</sup>: よろしくない。na:m<sup>ˈ</sup> lwaŋ<sup>ˈ</sup>: 婿。

【9丁表】

- 067 見人招郎来賜屋 苗丹招得敗家覓  
 kin<sup>ˈ</sup> ŋiən<sup>ˈ</sup> tsiu la:ŋ<sup>ˈ</sup> ta:i<sup>ˈ</sup> t<sup>h</sup>ei<sup>ˈ</sup> o?<sup>ˈ</sup> miu<sup>ˈ</sup> ta:n tsiu tu?<sup>ˈ</sup> pa:i<sup>ˈ</sup> ca: win<sup>ˈ</sup>  
 見たところ、他の人々は婿を招いて家を与えている。一方、私(母)は婿を招き入れて家を潰した。
- 068 招作重喪吾高拐 呪作人丁敗空覓  
 tsiu tsu?<sup>ˈ</sup> doŋ<sup>ˈ</sup> fəŋ m<sup>ˈ</sup> ku<sup>ˈ</sup> kwai<sup>ˈ</sup> tsjəu<sup>ˈ</sup> tsu?<sup>ˈ</sup> ŋiən<sup>ˈ</sup> tiŋ pa:i<sup>ˈ</sup> kuŋ<sup>ˈ</sup> win<sup>ˈ</sup>  
 婿を招いたが「重喪」日のように良くない吾高鬼で、家の物を外に持ち出してしまう。人を罵り、それによって人が死に、家が空になった。  
 注 kwa:i<sup>ˈ</sup>: 持ち出す。tsjəu<sup>ˈ</sup>: 罵る。
- 069 招作邪師天瘟氣 入作家覓悃[困] 屋慌  
 tsiu tsu?<sup>ˈ</sup> tsjə<sup>ˈ</sup> sai t<sup>h</sup>in wuən t<sup>h</sup>iə<sup>ˈ</sup> piə?<sup>ˈ</sup> tsu?<sup>ˈ</sup> ca: win<sup>ˈ</sup> k<sup>h</sup>uən<sup>ˈ</sup> o?<sup>ˈ</sup> hwa:ŋ  
 悪心の人を婿に招き、天の瘟氣を招き入れてしまった。入婿して家の人々を困らせ、物を無くさせる。  
 注 tsjə<sup>ˈ</sup> sai: 心の悪い人。hwa:ŋ: 空っぽ。

- 070 養 得 天 羅 八 敗 女 慌 々 洛[落] 屋 出 冤 家  
 juŋ˥ tuʔ˥ tʰin lo˥ pet˥ pa:i˥ nəu˥ hwa:ŋ hwa:ŋ loʔ˥ oʔ˥ tsʰuət˥ win˥ ca:  
 天羅八敗鬼のような娘を産んでしまった。寒々しくこの家に生まれてきて、喧嘩が生じる。  
 注 loʔ˥ oʔ˥: この家に生まれ落ちる。
- 071 黄 金 泡 銅 哄 世 上 場[傷] 鬼 纏 連 丕 變 神  
 ja:ŋ˥ ciəm pʰeu˥ toŋ˥ hwa:ŋ˥ sei˥ tsa:ŋ˥ tʰuŋ˥ kwei˥ dzen˥ lin˥ ja:m˥ pen˥ tsien˥  
 金と銅を合金して世間を欺くようなものだ。傷鬼は(娘とその夫に)絡まりついて善い神には変わらない。  
 注 pʰeu˥: 混ぜる, 混ぜ合わせる。hwa:ŋ˥: 騙す。kwei˥: ミエン口語では, 神も鬼神(精霊)もいずれも mien˥であ  
 るが, ここでは悪しき「鬼」kwei˥と善き「神」tsien˥を区別している。
- 072 慌 罗 八 敗 飛 天 底 五 月 内 中 又 托 生  
 hwa:ŋ lo˥ pet˥ pa:i˥ bwei˥ tʰin-dia˥ m˥ nut˥ noi˥ twaŋ˥ jəu˥ tʰoʔ˥ seŋ  
 天網八敗鬼が世間を飛んで, 五月中に托生した。
- 073 托 落 那 覓 定 丕 好 年 後 定 然 妻 敗 覓  
 tʰoʔ˥ loʔ˥ ɲa:i˥ win˥ tiŋ˥ ja:m˥ kʰu˥ nin-ho˥ tiŋ˥ jien˥ tsa:u˥ pa:i˥ win˥  
 どの家に托生しても必ず良くない。後に必ず家を潰し尽くす。  
 注 tiŋ˥jien˥: かならず。
- 【9丁裏】
- 074 細 年 之 時 当 金 保[符] 留 来 三 戒 度 紅 花  
 fai˥ nin˥ tsi˥ tsei˥ toŋ˥ ciəm pu˥ ljəu˥ ta:i˥ fa:m˥ ca:i˥ təu˥ hoŋ˥ kʰwa:  
 子供が小さいときには金の仏像のように扱った。(母が)家において, 娘に度戒を受けさせた。  
 注 ciəm pu˥: 金の仏像。fa:m˥ ca:i˥ (三戒): 度戒という, ミエンの位階儀礼の第二段階を指す。普通は, 夫婦か, 未  
 婚の男性個人で受礼するのであるが, ここでは娘が未婚の段階で儀礼を受けさせたことになっている。
- 075 丕 曉 留 来 敗 覓 底 敗 了 家 廷[庭] 改 丕 回  
 ja:m˥ ɕiu˥ ljəu˥ ta:i˥ pa:i˥ win˥ dia˥ pa:i˥ liu˥ ca:˥ tiŋ˥ koi˥ ja:m˥ wui˥  
 家において家が潰れることになろうとは知らなかった。家が潰れてしまうと, 元に戻すことはできない。
- 076 黄 八 托 生 哄 苗 代[帶] 辛 苦 己[幾] 多 丕 只[值] 錢  
 ja:ŋ pet˥ tʰoʔ˥ seŋ hwa:ŋ˥ miu˥ ta:i˥ fiəm-kʰəu˥ tsia˥ to ja:m˥ tsi˥ tsien˥  
 天網八敗鬼が托生してきて私を欺いて引きずり回した。父母の苦労は多く, 金銭には換えられない。  
 注 tsi˥ tsien˥: 金銭に換える。
- 077 丕 重[父↓車] 娘 辛 苦 代[帶] 由 天 分 断 慢 思 量  
 ja:m˥ tsoŋ˥ tiə˥ ɲa:ŋ˥ fiəm-kʰəu˥ ta:i˥ jəu˥ tʰin pun tun˥ man˥ fei-la:ŋ˥  
 (娘は) 父母が子供を連れ歩いた苦労を重んじない。天によって判断し, 徐々に知ることとなる。  
 注 pun tun˥ (分断): 判断。
- 078 誰[隨] 便 太 陽 大 眼 看 夜 里 太 陰 也 得 知  
 swei˥ pin˥ tʰa:i˥ ja:ŋ˥ ta:i˥ ɲin˥ kʰa:n˥ jiə˥ lei˥ tʰa:i˥ jiem˥ ja:˥ tuʔ˥ pei  
 (昼は) 太陽の大眼にしたがって見る。夜には月も知っている。
- 079 五 道 場[傷] 神 偷 入 屋 嚇 作 家 先 都 走 慌  
 m˥ to˥ tʰuŋ˥ tsien˥ tʰəu piəʔ˥ oʔ˥ heʔ˥ tsuʔ˥ ca:˥ fin sjaŋ˥ pjaʊ˥ hwa:ŋ  
 五道傷神はこっそり家に入る。その家の先祖(家先)を脅して皆逃げ出させる。

- 080 草 皇 家 兵 扎[割] 作 屋 寬 中 大 小 被 時 亏  
 tsʰa:uː huŋ˥ ca: peŋ tsep˥ tsuʔ˥ oʔ˥ win˥ twaŋ ta:i˥ fiu˥ pei˥ si˥ kʰwei  
 (恰も) 悪しき為政者の私兵が家の中にいて、家中の人々が何でも奪われるようなものだ。  
 注 tsʰa:uː huŋ˥: 悪い為政者(王や、大臣、県知事、郡長、村長など)。ca: peŋ: 正式の兵隊でない私兵。tsep˥ 一時的  
 に住む。ta:i˥ fiu˥: 大人と小人、転じて人々。「老若男女」。pei˥ si˥: 何でも～される。時は宛字。kʰwei: 奪う。

【10丁表】

- 081 人 屋 出 官 又 出 職 苗 丹 家 里 出 妖 精  
 niən˥ oʔ˥ tsʰuət˥ cuən˥ jəu˥ tsʰuət˥ tseʔ˥ miu˥ ta:n˥ ca: lei˥ tsʰuət˥ jau˥ tsɿŋ  
 人の家では官人や名を成した者を出しているが、私の家では怪物を出してしまった。
- 082 今 世 女 花 悪 过 姐 後 世 托 生 定 犬 兒  
 ciəm sei˥ jəu˥ kʰwa: oʔ˥ ciə˥ tsia˥ ho˥ sei˥ tʰoʔ˥ seŋ tiŋ˥ cʰun˥-nei˥  
 現在、娘は母親より悪い。次の転生先では、必ず犬に生まれ変わるだろう。
- 083 上 界 天 星 也 得 見 不 以 托 生 重 轉 陽  
 tsa:ŋ˥ ca:i˥ tʰin˥ fiŋ˥ ja:˥ tuʔ˥ kin˥ ja:m˥ ji˥ tʰoʔ˥ seŋ tsoŋ˥ dzuən˥ ja:ŋ˥  
 天界の星も見ている。再び人として転生することはできない。  
 注 dzuən˥ ja:ŋ˥: 人として転生する。
- 084 今 世 有 名 打 冤 枉 陰 府 衙 門 卦 步 齊  
 ciəm sei˥ ma:i˥ miŋ˥ ta:˥ win-waŋ˥ jiəm-fəu˥ ja:˥ muən˥ kwa:˥ pəu˥ dzo:i˥  
 現在有名となったこの紛争は、陰府の門前では悪業の借用書が揃ってしまっている。  
 注 kwa:˥ pəu˥: 借用書。
- 085 面 皮 廣 活[闊] 影 天 底 架 下 銅 刀 定 罪 深  
 min˥ ho˥ ca:ŋ˥ jiat˥ eŋ˥ tʰin-dia˥ ca:˥ jia˥ toŋ˥ to˥ tiŋ˥ tswi˥ siəm  
 娘の顔は天下に広く知れ渡っている。地獄では罪深いことが決っている。  
 注 ca:˥ jia˥ toŋ˥ to˥: 地獄。
- 086 黄 河 水 面 也 难 过 生 作 犬 兒 牛 馬 屍  
 ja:ŋ˥ ho˥ swi˥ min˥ ja:˥ na:n˥ ciə˥ seŋ tsuʔ˥ cʰun˥-nei˥ ŋəŋ˥ ma:˥ sei  
 黄河の水面もまた渡りがたい。転生して、犬か牛馬の身となる。  
 注 sei: 身体、死体。
- 087 不 以 托 生 出 世 上 変 成 陰 [口→養] 現 呻 言  
 ja:m˥ ji˥ tʰoʔ˥ seŋ tsʰuət˥ sei˥ tsa:ŋ˥ pen˥ tsjaŋ˥ jiəm-ja:ŋ˥ çin˥ siŋ ŋin˥  
 この世には転生できない。鬼となって遠吠えのように叫ぶだけである。  
 注 jiəm-ja:ŋ˥: 鬼。精霊。

【10丁裏】

- 088 轉 世 步 头 代[帶]場[傷] 死 不 会 托 生 二 世 修  
 dzuən˥ sei˥ pəu˥ tau˥ ta:i˥ tsʰuŋ˥ fei˥ ja:m˥ wui˥ tʰoʔ˥ seŋ nei˥ sei˥ fjeu  
 転生しても、その時に事故に遭って死んでしまう。二世に亘って再生することはできない。  
 注 ta:i˥ tsʰuŋ˥: 事故に遭う。
- 089 從 小 未 曾 見 大 怪 女 花 餓 [革→老] 返[反] 家 寬  
 tsoŋ˥ fiu˥ mei˥ keŋ˥ kin˥ ta:i˥ kwai˥ jəu˥ kʰwa: ŋə˥ go˥ fa:n˥ ca: win˥  
 未だ曾て小さな物から大きな怪事が生じるのを見たことがない。娘は夫を得ず、家を潰した。  
 注 ŋə˥: ~を欠く、~がない。go˥: 夫。

- 090 同[等] 能 皇 兵 反 刈[州] 府 同[等] 能 発 浪 反 猛 障  
 doŋ` ɲaŋ` huŋ` peŋ` fa:n` tsjəu` fəu` doŋ` ɲaŋ` fa:t` la:ŋ` fa:n` muŋ` loŋ  
 恰も政府の兵が反乱を起こしたようだ。また、恰もルアンパバーンを白人が攻撃したようだ。  
 注 fa:t` la:ŋ` : タイ語の farang (白人) の音訳。muŋ` loŋ (猛障) : ラオスの Mueang Luang Pabang (ルアンパバーン府) の音訳。
- 091 女 花 反 覓 丕 清 草 皇 兵 奏 反 丕 平 安  
 ɲəu` kʰwa: fa:n` win` ja:m` tsʰiŋ-tʰo` huŋ` peŋ` tsə:u`-fa:n` ja:m` peŋ` ɔn  
 娘が家に反しても、全て精算したわけではない。政府の兵が反乱して、平安が訪れないようなものだ。  
 注 tsʰiŋ-tʰo` : 清算する。
- 092 爺 娘 教 言 丕 听 話 生 作 犬 兎 牛 馬 屍  
 ɲiə` ɲa:ŋ` dʒa:u` ɲin` ja:m` tʰiŋ` wa` seŋ` tsu?` cʰun`-pei` goŋ` ma` sei  
 父母は教えるのだが、娘はその話を聞こうとしない。死後転生するのは、犬か牛馬の身である。
- 093 月 落 西 天 尋 覓 [革→老] 覓 里 有 工 丕 见 修  
 ɲut` lo?` fai-tʰin` tsiam` lo` go` win` lei` ma:i` koŋ` ja:m` kin` fjeu  
 日が西に落ちてても夫を探す。家の中に仕事があるが、やるのを見たことがない。  
 注 ɲut` : ここの「月」は「太陽」を表す。
- 094 千 边[般] 教 言 丕 听 姐 天 地 丕 番[翻] 左 丕 依  
 tsʰin-piən` dʒa:u` ɲin` ja:m` tʰiŋ` tsia` tʰin` tei` ja:m` fa:n` so` ja:m` ei  
 通常の教を説くが、母の言葉を聞こうとしない。天地がひっくり返らないように頑固に従わない。  
 注 ja:m` ei : 従わない。
- 【11丁表】
- 095 天 知 地 明 出 冤 枉 父 母 打 冤 面 丕 光  
 tʰin` pei` tei` meŋ` tsʰuət` win` wəŋ` puə?` məu` ta` win` min` ja:m` jaŋ  
 天も地も悪いことが出てくる事を知っている。父母は喧嘩して顔色が悪い。
- 096 反 敗 娘 覓 又 誰 便 得 夫 配 起 好 歡 遊  
 fa:n` pa:i` ɲa:ŋ` win` jəu` swei` pin` tu?` fəu` pʰui` kʰi?` kʰu` juən-jəu`  
 母の家を混乱させてそのままである。娘は夫を得て嬉しいだろうと(父母が)言う。
- 097 但 煩 二 人 得 供[共] 世 造 然 丕 听 姐 娘 言  
 ta:n` fa:n` ɲei` ɲiən` tu?` cwəŋ` sei` jəu` jien` ja:m` tʰiŋ` tsia`-ɲa:ŋ` ɲin`  
 もしそうなら、二人とも世を共にする相手を得る。どのようにしても、父母の言葉を聞かない。  
 注 ta:n` fa:n` (但煩) : もしそのようであれば。jəu` jen` : どのように。
- 098 听 得 姐 娘 恸[困] 世 老 怕 得 無 双 睡 丕 安  
 tʰiŋ` tu?` tsia`-ɲa:ŋ` kʰwən` sei` lo` dʒiə` tu?` məu` soŋ` tswei` ja:m` ɔn  
 (娘の言うには) 父母の言うことを聞いていると、夫無く年老いてしまう。もし、夫がいなければ、一人で寝ても安眠できない。  
 注 tsia` ɲa:ŋ` : 父母。
- 099 丕 得 成 双 低 丕 杵 愿 領 捉 錢 來 換 夫  
 ja:m` tu?` tsiaŋ` soŋ` tiə` ja:m` tsəu` ɲuŋ` leŋ` tsə?` tsin` tai` jien` fəu  
 (母の言うに) もし夫婦にならなければ女陰が寂しい。(娘は) 銭を持ってきて、夫を買う事を望む。  
 注 tiə` : 女陰。

- 100 今世造書 傳[傳] 報衆 世上人多 替則[測] 書  
 ciəm sei̯ tsəu̯ səu̯ tsun̯ buə̯ tswaŋ̯ sei̯ tsa:ŋ̯ ɲiən̯ to̯ tʰei̯ dzaʔ̯ səu̯  
 (母は) 今、歌を書いて娘の悪事を人々に伝えた。世の中の多くの人が歌の内容に賛同した。  
 注 səu̯ : 一般には文書の意味であるが、ここでは歌を指す。tʰei̯ dzaʔ̯ : 支持する、同意する。

- 101 何曾秀得心肌滿 能那訴來心正干  
 həʔ̯ dzaŋ̯ fjeu̯ tuʔ̯ fiəm̯ cei̯ miən̯ ɲaŋ̯ ɲa:i̯ su̯ ta:i̯ fiəm̯ tsiŋ̯ ga:i̯  
 どのようにして満足が得られようか。どのようにして話したら心が晴れるだろうか。  
 注 ga:i̯ : 心が晴れる。

【11 丁裏】

- 102 訴並朝中 前人 听 [拵→宅] 男代[帶] 女則[測] 苗書  
 su̯ pin̯ tsiu̯ twaŋ̯ tsin̯ ɲien̯ tʰiŋ̯ to̯ na:m̯ ta:i̯ ɲəu̯ dzaʔ̯ miu̯ səu̯  
 国中の老人に話して聞いてもらう。子供を連れて来た人々も私の歌のことを考えてくれる。  
 注 tsin̯ ɲen̯ : 老人。to̯ na:m̯ ta:i̯ ɲəu̯ : 「男児を連れてくる。女児を連れてくる。」転じて「子供を連れて来た人々」。

- 103 五月 養 得紅花子 定了陰陽慢代花  
 ŋ̃ ɲut̯ juŋ̯ tuʔ̯ hoŋ̯ kʰwa: tsai̯ tiŋ̯ liu̯ ɲiəm̯ ja:ŋ̯ man̯ ta:i̯ kʰwa:  
 (母の歌に曰く) 五月に娘を産んだ。陰陽が定まって、後に娘となる。

- 104 若还 求籤得上卦 細慢代[帶] 勞世上修  
 ɲəu̯ wa:n̯ cəu̯ tʰim̯ tuʔ̯ tsa:ŋ̯ kwa:̃ fai̯ ma:n̯ ta:i̯ la:u̯ sei̯ tsa:ŋ̯ fjeu̯  
 (母) もし占いで好い卦が出たら、徐に子供を連れて世の中を歩く。  
 注 fai̯ ma:n̯ : 徐々に。

- 105 若还 求籤得下卦 拋下火堂把火烧  
 ɲəu̯ wa:n̯ cəu̯ tʰim̯ tuʔ̯ ha:̃ kwa:̃ beu̯ ɲiə̃ cʰiə̃-təŋ̯ pa:̃ cʰiə̃ siu̯  
 (母) もし占いで悪い卦が出たら、焚火にくべて燃やしてしまう。  
 注 cʰiə̃-təŋ̯ : 焚火。

- 106 代[帶] 上清[青]山 俵虎吃 免煩 伏 代[帶] 操心愁  
 ta:i̯ tsa:ŋ̯ tʰiŋ̯-sen̯ piu̯ həu̯ kʰiʔ̯ miən̯ fa:n̯ puəʔ̯ ta:i̯ tʰõ̃ fiəm̯ dzaʔ̯  
 (母) 子どもを連れて山に登り、虎に食わせる。これで、子どもを抱いたり連れて歩くのが煩わしく心が憂鬱になるのを免れる。  
 注 piu̯ : 与える。

- 107 血盆内中 趕早刹[殺] 不留花骨葬山头  
 ɲut̯ pun̯ noi̯ twaŋ̯ ka:n̯ dʒəu̯ set̯ ɲa:m̯ liu̯ kʰwa: kuət̯ tsaŋ̯ sen-tau̯  
 生れたてに早く殺してしまうに限る。子供の骨はなく、山中に葬る。  
 注 ka:n̯ : 急いで。ɲa:m̯ liu̯ kʰwa: kuət̯ : 生まれたばかりの孩児には骨がないと考えられている。

- 108 那人無心刹[殺] 得死 拋下江灘水湯 休  
 ɲa:i̯ ɲien̯ məu̯ fiəm̯ set̯ tuʔ̯ fei̯ beu̯ ɲiə̃ koŋ̯-tʰa:n̯ swi̯ tʰəŋ̯ həu̯  
 どんな人が訳もなく子どもを殺そうとするだろうか。(自ら手を下さず) 河に捨て、水に流し去るままにする。  
 注 koŋ̯ (江) この字は原文では湯の後に書かれていたが、筆記者本人がここに入るべきであったとしているので、改めた。tʰəŋ̯ : 流す。həu̯ : 去る。

## 【12丁表】

- 109 不 早 刹[殺] 前 帶 長 大 敗 朝 刹[殺] 葬 不 成 家  
 ja:m`dzjəu` set` tsin` ta:i` tsjan` ta:i` pa:i` tsiu` set` tsan` ja:m` tsjan` ca:  
 しかし、(娘は) 殺す前に大きくなってしまった。村をだめにして、家のあらゆることをだめにする。  
 注 tsiu` : 本来は「国家」の意味であるが、歌では誇張表現により「村」を意味する。set` tsan` : 悪くする。
- 110 一 敗 家 中 吃 娘 姐 二 敗 郷 連 吞 空 覓  
 jet` pa:i` ca: twaŋ k`hʔ` ja:ŋ` tsiə` nei` pa:i` çɑ:ŋ lin` t`hɑ:m k`hʊŋ` win`  
 第一に、家内で父母を食べてしまう。第二に、村中の家のものを食べ尽くし、空にしてしまう。  
 注 çɑ:ŋ lin` (郷連) : 村の人々。
- 111 若 还 有 眼 望 得 見 免 把 花 兒 上 弄[歪] 身  
 jəu` wa:n` ma:i` jin` moŋ` tu?` kin` miən` pa: k`hwa: nei` tsɑ:ŋ` wa:i` siən  
 もし、慧眼を備えて良く見えていたら、間違って娘を身ごもることはなかった。  
 注 miən` pa: : ~することはない。
- 112 上 弄[歪] 身 屍 改 不 轉 落 下 地 中 赶 刹[殺] 前  
 tsɑ:ŋ` wa:i` siən sei koi` ja:m` dzuən` lo?` jio` tei` twaŋ ka:n` set` tsin`  
 (母曰く) 間違って身籠ってしまったが、元に戻すことはできない。生まれ落ちたらまず即座に殺す。  
 注 siən sei : 身体。ka:n` : すぐに、急いで。
- 113 若 还 細 年 望 得 見 抛 下 清[青]山 留 虎 吞  
 jəu` wa:n` fai` nin moŋ` tu?` kin` beu jio` t`hʲiŋ`-sen liu` həu` t`hɑ:m  
 (母曰く) もし、小さいときに将来に期待したとしても、山に捨てて虎に食べさせる。
- 114 早 曉 女 花 心 不 変 送 行 猛 上 替 當 兵  
 dzjəu` çiu` jəu` k`hwa: fiəm ja:m` pen` fuŋ` heŋ` muŋ` tsɑ:ŋ` t`hei` tɔŋ` pɛŋ  
 (母曰く) 以前、娘の心が悪いことを知っていたら、町(ムアン)へ送って、兵に与えていた。  
 注 muŋ` : タイ語のmueang (ムアン。町、くに)の音訳。
- 115 五 月 女 花 不 砌[置] 屋 敗 了[父↓車][爺][女→ト][娘] 家 里 慌  
 ŋ` put` jəu` k`hwa: ja:m` t`hei` o?` pa:i` liu` jio`-ja:ŋ` ca: lei` hwaŋ  
 (母曰く) 五月生まれの娘は家の中のを散らかしっぱなしにする。父母の家を乱してしまう。

## 【12丁裏】

- 116 牛 馬 出 生 訴 不 尽 做 有 己[幾] 吊[條] 痛 心 肌  
 goŋ` ma: t`hʊət` seŋ su` ja:m` tsiən` tsəu` ma:i` tsiə` tiu` t`hoŋ` fiəm cci  
 牛や馬は生まれてきても話せない。色々な物を作っても、心は痛む。
- 117 陰 貢[工] 不 政[正] 罪 逆 大 功 德 不 有 不 寿 源  
 j̄iəm-koŋ ja:m` tsij` tswi` nip` ta:i` koŋ-ta?` ja:m` ma:i` ja:m` sjəu` juən`  
 人知れず悪いことを行ったら、罪は大きい。功德がなければ寿命も短い。  
 注 sjəu` juən` : 寿命の長さ。
- 118 不 望 野 鷄 尚 神 聖 不 望 烏 龜 杵 上 飛  
 ja:m` moŋ` çio` cci siəŋ` tsiən` siŋ` ja:m` moŋ` o?-kwei tsəu` tsɑ:ŋ` bwei  
 野鷄が神を祀るのは見たこともない。亀が木に登って飛ぶのも思いもつかない。  
 注 moŋ` : 想いをいたす、考えが及ぶ。

- 119 不望野狸來入赦 不望紅銅來作金  
 ja:m` moŋ` ɕiə` lei` ta:i` piəʔ` siə` ja:m` moŋ` hoŋ` toŋ` ta:i` tɕəu` ciəm  
 野狸が入婿するのも考えつかない。銅が金になるのも思いつかない。
- 120 不望藤幸[籐辛] 做肉吃 不望男龍収淺[賤] 屍  
 ja:m` moŋ` da:ŋ` fim` tɕəu` puəʔ` khiʔ` ja:m` moŋ` na:m` lwaŋ` sjəu` tsin` sei`  
 籐の実が食肉になるのも考えもつかない。招婿して自分たちの葬儀をしてもらうことも思い及ばない。  
 注 da:ŋ` fim` (籐辛)：籐の実。sjəu` sei`：葬る。
- 121 女花守覓能暗路 當能秋間雲霧[霧] 飛  
 nəu` k`hwa: sjəu` win` ŋaŋ` om` ləu` toŋ` ŋaŋ` t`hiəu-ken` juŋ` məu` bwei`  
 (母曰く) 五月生まれの娘が家を守るのは暗路に行くようなものだ。秋季に雲霧が飛ぶ(雨が多い)よ  
 うなものである。  
 注 juŋ` məu` bwei`：雨が多い。
- 122 嗚々句々不伏 管 女花開口能雷 嘩  
 siŋ` siŋ` cəu` cəu` ja:m` puəʔ` kuŋ` nəu` k`hwa: k`həi` k`həu` ŋaŋ` lwei` siŋ`  
 (母曰く) 父母が言っても聞こうとしない。(逆に) 娘が口を開くと雷の音のようだ。  
 注 ja:m` puəʔ`：～を好まない, ～したがらない。
- 【13丁表】
- 123 不是姐娘生身世 便是天仙洛[落] 下凡  
 ja:m` tsei` tsie`-ŋa:ŋ` seŋ-siən` sei` pin` tsei` t`hin-fin` loʔ` jə` pa:m`  
 (母曰く) この娘は父母がこの世で生んだ身ではない。天仙がこの世に落ちてきてできたものだ。  
 注 siən` sei` (身世)：この世の身体。pa:m` (凡)：この世。「凡間」の略。
- 124 天地生身在世上 地土生身不能諾  
 t`hin-tei` seŋ-siən` tɕəi` sei` tsa:ŋ` tei` t`həu` seŋ-siən` ja:m` ŋaŋ` nɔ`  
 天地が生んだ身はこの世にある。地から生まれた身はそのようではない。
- 125 籬娘伏乃也痛[通]念 許娘伏乃能諾 凶  
 jiə` ŋa:ŋ` puəʔ` nai` ja: t`hoŋ` nim` həu` ŋa:ŋ` puəʔ` nai` ŋaŋ` nɔ` ɕwaŋ`  
 父母が子どもを抱いて乳を飲ませるのは子を愛する故であるが、(娘は) 母が授乳したことが悪いこと  
 だったと罵った。  
 注 puəʔ` nai`：抱いて乳を飲ませる。həu`：罵る。
- 126 不是前初親男女 別國妖精來走胎  
 ja:m` tsei` tsin` t`həi` tsien` na:m` nəu` peʔ` kuəʔ` jau` tsin` ta:i` pjaʊ` t`həi`  
 これは、以前に生んだ子ではない。他国の怪物が入胎したのだ。
- 127 本壇家先不做主 外里場[傷]神正變胎  
 puən` ta:n` ca: fin` ja:m` tɕəu` tsjəu` niə` lei` t`həuŋ` tsien` tsin` pen` t`həi`  
 我々の家の祖先が主とならず、外の傷神が入胎した。
- 128 女花寿[守] 覓難造古 不是曉明難造章  
 nəu` k`hwa: sjəu` win` na:n` tɕəu` kəu` ja:m` tsei` ɕiu` meŋ` na:n` tɕəu` tsa:ŋ`  
 娘は家にいるが、故事歌をつくるのは難しい。知り得たことを歌にするのが難しいわけではない。



- 129 造 不 尽 有 紙 無 文 造 不 齊  
 tsəu˥ ja:m˥ tsien˥ ma:i˥ tsei˥ məu˥ wuən˥ tsəu˥ ja:m˥ dzo:i˥  
 述べ尽くせない。紙があっても文案がなければ書けない。

## 【13丁裏】

- 130 代 筆 之 人 思 尽 意 執 筆 思 情 肚 里 難  
 ta:i˥ pat˥ tsi˥ nien˥ fei˥ tsien˥ ei˥ tsiap˥ pat˥ fei˥ tsij˥ təu˥ lei˥ na:n˥  
 代筆の人は思いが尽きる。執筆しても、考えが腑に落ちるのは難しい。
- 131 造 書 不 奈 訴 人 意 浅[賤] 人 難 訴 貴 人 衍  
 tsəu˥ səu˥ ja:m˥ noi˥ su˥ nien˥ ei˥ tsin˥ nien˥ na:n˥ su˥ kwei˥ nien˥ hoŋ˥  
 歌を書くのは人にこの事情を伝えたいというわけではない。賤人が貴人の格の人に語るのは難しい。  
 注 hoŋ˥: 格, 段階, ランク。
- 132 自 肝 本 心 無 人 造 己[幾] 任 醜 蚤[賤] 人 不 知  
 tsei˥ kan˥ puən˥-sin˥ məu˥ nien˥ tsəu˥ tsia˥ jiem˥ tʰiəu˥ tsɑ:n˥ nien˥ ja:m˥ pei˥  
 私の本心は他の人は語れない。色々なランクの人がいるが、ランクがもっとも下の人のことは誰も知らない。  
 注 tsei˥ kan˥: 私自身, 自分。
- 133 闌 浅[賤] 身 屍 訴 人 意 哽 比 人 家 闌 浅[賤] 屍  
 la:n˥ tsin˥ siən˥-sei˥ su˥ nien˥ ei˥ kəŋ˥ pi˥ nien˥ ca:˥ la:n˥ tsin˥ sei˥  
 賤しい身の私が、五月娘の悪い状態のことを人に伝えると、それは恰も人と私を比べているようなものだ。  
 注 kəŋ˥ pi˥: 悪く喩える。la:n˥: ①人の類別詞, ~人。②忌避する, 妨げる。la:n˥ tsin˥: 賤しい人。
- 134 造 書 不 見 前 後 路 不 管 人 家 限[恨] 肚 庄  
 tsəu˥ səu˥ ja:m˥ kin˥ tsin˥ ho˥ ləu˥ ja:m˥ kun˥ nien˥ ca:˥ han˥ təu˥ dzoŋ˥  
 歌を書くときには結果が分からない。人々の恨みの心情は考えも及ばない。  
 注 səu˥: 一般には文書の意味であるが、ここでは歌を指す。ja:m˥ kun˥: 考えない。dzoŋ˥: 嫌う, 遠ざける。
- 135 造 書 之 時 欠 烟 吃 烟 引 発 來 政[正] 造 書  
 tsəu˥ səu˥ tsi˥ tsei˥ cʰiem˥ in˥ kʰi˥ in˥ jien˥ fat˥ ta:i˥ tsij˥ tsəu˥ səu˥  
 歌を書くときには阿片が必要である。阿片を吸うと歌が書ける。  
 注 cʰiem˥: ~を欠く, ~が必要である。in˥: 阿片。
- 136 替 人 造 書 簿 烟 吃 个 把 烟 據 度 过 秋  
 tʰei˥ nien˥ tsəu˥ səu˥ piət˥ in˥ kʰi˥ kə˥ pa:˥ in˥ tsɑ:˥ təu˥ cia˥ tʰəu˥  
 他の人に歌を書いてもらい、その人は阿片を受け取る。幾つかの阿片の包みが時を過ぎてゆく。  
 注 piət˥: 賃金を稼ぐ, 謝金を受け取る。in˥ tsɑ:˥: 阿片の包み。

## 【14丁表】

- 137 得 飲 不 管 人 断 意 造 出 書 中 天 底 知  
 tu˥? jiem˥ ja:m˥ kun˥ nien˥ tun˥ ei˥ tsəu˥ tʰuat˥ səu˥ twaŋ˥ tʰin˥ dia˥ pei˥  
 阿片を吸えば、他人から交際を絶たれることは恐れなくて済む。歌を書けば天下の人々を知る。  
 注 tun˥ ei˥ (断意): 交際を絶とうとする意思。
- 138 並 報 刈[州] 廷 成 妻 对 八 月 内 中 莫 供[共] 床  
 pin˥ buə˥ tsjəu-tij˥ tsieŋ˥ tʰai˥ tɔi˥ pe˥ nut˥ noi˥ twaŋ˥ i˥ cwaŋ˥ tsəŋ˥  
 国中の人々に伝える。夫婦になったら、八月は同床しないことだ。

- 139 味[爲] 作 自 肝 生 得 淺[賤] 夫 妻 兩 查 供[共] 床 卜[敷]  
 wei` tsu?` tsei` kan` seŋ tu?` tsɑ:n` fəu-tsʰai ljaŋ` ɕiŋ` cwaŋ` tsəŋ` pʰəu

私は生まれが賤しいから、夫婦二人で同床した。

注 wei` tsu?` : ~だから。seŋ : 再生する。

- 140 夫 妻 二 人 低 丕 杵 八 月 投 胎 五 月 生  
 fəu-tsʰai nei` nien` tiə` ja:m` tsəu` pet` nut` da:u` tʰoi m̄` nut` seŋ

でも、夫婦二人は性交しない。八月に受胎すれば五月に生まれるからだ。

- 141 當 初 丕 曉 深 情 事 夫 妻 丕 曉 正 投 胎  
 toŋ` tʰə ja:m` ɕiu` siəm` tsin` dzai` fəu-tsʰai ja:m` ɕiu` tsin` da:u` tʰoi`

以前は深い事情を知らなかった。夫婦は正しい受胎法を知らなかった。

- 142 五 月 開 花 怕 變 宝 丕 曉 能 諾 操 敗 覓  
 m̄` nut` goi` kʰwa: dzia` pen` pu` ja:m` ɕiu` ŋaŋ` nə` tʰə` pa:i` win`

五月に出生して宝になると期待するが、家を潰すことになるとは知らなかった。

- 143 世 間 曉 得 深 情 路 投 人 造 意 廣 傳[傳] 鄉  
 sei` ken` ɕiu` tu?` siəm` tsin` ləu` da:u` nien` tsəu` ei` caŋ` tsun` ɕa:ŋ

今、世間の人々は深い事情を知った。人に文書を書かせて天下に知らせた。

【14丁裏】

- 144 八 月 内 中 分 散 代[對] 夫 妻 想 死 莫 投 胎  
 pet` nut` noi` twaŋ` pun` dza:ŋ` toi` fəu-tsʰai faŋ` fei` i` da:u` tʰoi

八月中は夫婦は離れているべきである。夫婦は死を思えば、受胎してはならない。

- 145 想 愛 投 胎 正 二 月 年 後 正 來 得 好 覓  
 faŋ` oi` da:u` tʰoi` tsin` niei` nut` nin` ho` tsin` ta:i` tu?` kʰu` win`

愛し合って受胎するのは正月か二月である。後に良い家を得ることができるだろう。

- 146 若 还 夫 妻 丕 断 睡 八 月 投 胎 五 月 花  
 jəu` wa:n` fəu-tsʰai ja:m` tun` tswei` pet` nut` da:u` tʰoi m̄` nut` kʰwa:

もし夫婦が(八月に)同床をやめないと、八月に受胎して、五月に生まれる。

- 147 五 月 養 花 定 變 怪 富 貴 覓 家 怕 敗 慌  
 m̄` nut` juŋ` kʰwa: tin` pen` kwai` fu?` kwei` win` ca: dzia` pa:i` hwa:ŋ

五月に娘が生まれると、必ず怪になる。富貴の家も潰してしまうだろう。

- 148 那 人 心 中 丕 信 古 投 苗 作 本 度 根 由  
 ʎa:i` nien` fiəm-twaŋ` ja:m` siən` kəu` da:u` miu` tsəu` puən` təu` kən-yəu`

誰も、心の中ではこの五月生まれの娘の故事歌を信じない。私は頼まれて見本を作り、この原因を伝える。

注 tsəu` puən : 見本を作る。

- 149 前 初 丕 有 古 言 報 夫 妻 丕 曉 正 投 胎  
 tsin` tʰə ja:m` ma:i` kəu` ŋin` buə` fəu-tsʰai ja:m` ɕiu` tsin` da:u` tʰoi

以前は故事を伝えなかった。夫婦は正しい受胎法を知らなかった。

- 150 五月紅花怕變宝 怕得光灯來照覓  
 m̄˥˩ n̄ut˥˩ hoŋ˥˩ kʰwa˥˩ d̄ziə˥˩ pen˥˩ pu˥˩ d̄ziə˥˩ tu?˥˩ jaŋ˥˩ ta˥˩ ta˥˩ t̄siu˥˩ win˥˩  
 五月生まれの娘は宝になり、灯火となって家を照らすかもしれない(と期待した)。

## 【15丁表】

- 151 枉費爺娘代辛苦 不得飲仙辛苦章  
 waŋ˥˩ -fei˥˩ jiə˥˩ na˥˩ ta˥˩ fiəm-kʰəu˥˩ ja˥˩ m̄˥˩ tu?˥˩ jiem˥˩ fin˥˩ fiəm-kʰəu˥˩ t̄sa˥˩ ŋ  
 しかし、無駄に出費して父母は苦労した。まさか娘を食う訳にもいかず、苦悩は強い。  
 注 fin (仙) : 女性(歌謡語)。ここでは娘のことを指す。
- 152 難為花央[央]过得意 枉姐代劳己[幾]歳年  
 na˥˩ n̄˥˩ wei˥˩ kʰwa˥˩ ja˥˩ ŋ ciə˥˩ tu?˥˩ ei˥˩ waŋ˥˩ t̄siə˥˩ ta˥˩ i˥˩ la˥˩ u˥˩ t̄siə˥˩ f̄ui˥˩ nin  
 どうして娘は自分のことだけ考えるのか。父母は何年も無駄に苦労した。
- 153 今世有名出冤枉 後歩花孫看様修  
 ciəm˥˩ sei˥˩ ma˥˩ i˥˩ miŋ˥˩ t̄h̄uət˥˩ win˥˩ waŋ˥˩ ho˥˩ p̄əu˥˩ kʰwa˥˩ fun˥˩ kʰa˥˩ n̄˥˩ jaŋ˥˩ f̄jəu  
 今、有名な誹い事を、後に子孫がその様子を見て戒めの例にして欲しい。
- 154 後代子孫世執[接]世 陞職有名圖執[接]圖  
 ho˥˩ t̄ai˥˩ t̄sei˥˩ -fun˥˩ sei˥˩ d̄zip˥˩ sei˥˩ seŋ˥˩ t̄se˥˩ ma˥˩ i˥˩ miŋ˥˩ t̄əu˥˩ d̄zip˥˩ t̄əu˥˩  
 後代の子孫は代々同じように行うだろう。行いによって名が知られ、代々伝わる。
- 155 誰[随]便風吹扇書去 一街扇过二街遊  
 swei˥˩ pin˥˩ pwaŋ˥˩ t̄h̄wi˥˩ sin˥˩ səu˥˩ cʰəu˥˩ jiet˥˩ ca˥˩ i˥˩ sin˥˩ ciə˥˩ niei˥˩ ca˥˩ i˥˩ jəu˥˩  
 風に吹かれて文書が広まる。一村をすぎたら第二の村まで及ぶ。  
 注 ca˥˩ i˥˩ (街) : 歌詞では「街」ではなく誇張表現で「村」を指す。

民國五十六年七月上旬抄得來

又到民國九十六年丁亥歲五月

初六日照來留有

この歌を書写した鄧貴華氏によると、この歌はラオスのPhalalaiで書かれ、写本を繰り返して伝わっている。最初に歌が書かれたのは2023年よりおおよそ70年前だという。しかもこれは実在のモデルが存在した。後日譚として、この主人公の「五月生まれの娘」の娘がラオス難民としてナーン県のPaaklaangという村にいたという。名前も知られている。後に夫を得てカンベンペット(Kamphaengphet)県へ移住した。その後どこへ行ったかは不明であるという。

## 4. 考察

## 4. 1 転生(〈托生〉)の観念について

この歌は、ミエンの靈魂観と民俗生殖学に関する資料となる。靈魂観について言えば、〈托生〉tʰəp˥˩ seŋ˥˩について、重要な資料を提供している。〈托生〉は靈魂の転生を意味する。仏教の輪廻思想とも似ており、おそらくは道教経由で佛教の輪廻思想が影響したものと推察される。しかし、詳細はいささか異なる。ミエンにおいては祖先祭祀が儀礼の重要部分を構成しているが、祖先祭祀と輪廻(転生)の原理とは本来両立するものではない。仏教の輪廻の転生観では、死後に異なる存在へ転生する。人間として転生する場合でも異なる人格となる。一方祖先祭祀では、死者は死後も人格の同一性を保ち、祖先として子孫に影響力を行使する。子孫は祖先を供養し、祖先はそれに対して庇護などを与える。こうした交換関係が祖先祭祀であり、祖先の人格が死後も失われないこと、即ち転生などしないことが前提となる。

このように祖先祭祀と転生原理とは両立し難いものであるが、ミエンの場合、以下のような機序で両立させている。ミエンにとっての祖先は、一つ家に居住する居住集団の祖先〈家先〉ca: finである。詳細に言えば、男性家主の直系の父系祖先とその妻である。これらの〈家先〉は生前に儀礼で取得した儀礼名で〈家先単〉という祖先簿に記載されている。この〈家先単〉は各家に備わっている。この〈家先単〉には九代までの〈家先〉が記載されるのが原則である。家主夫婦が死に、居住集団の代替わり（既婚の息子たちが各々居住集団を構える）となると、〈家先単〉を書き直す。新たな〈家先単〉には亡くなった前代家主夫婦の儀礼名が記載されるとともに、旧〈家先単〉に記載されていた最も上の世代の〈家先〉の名前を削除する。こうして常に九代の〈家先〉名が〈家先単〉には書かれていることになる<sup>(4)</sup>。この削除された〈家先〉は転生（〈托生〉）したとされる。即ち転生したので、もはや祭祀対象ではないということになる。このように、祭祀対象の祖先の世代数を限定し、そこから外れた祖先はすでに転生したものとして、祖先祭祀と転生観念を両立させているのである。

従来のミエン研究で報告されている〈托生〉に関する報告は以下の通りである。ミエンの言うには、ミエンの祖先は自分が祀られていた家（ピャオ）に子供として転生するが、祖先が自分の子孫ではない家に転生する可能性もあるという<sup>(5)</sup>。ミエンが他民族から養子を取った場合、その子がかつて養親の祖先の一人であったと確定する占いが行われ、養親と養子が同じ出自であることが確認される<sup>(6)</sup>。また、転生の観念がミエンの世界観の基本的要素であるため、他民族から養子を取ることに對して公的な反対がないと報告されている<sup>(7)</sup>。このように、これまでの報告は、転生が人間界への転生であって、その中心的なテーマが、転生した子供がかつての祖先であったか否かということであった。逆に、祖先が間違っただけで他民族として転生することがあり、他民族養取によってそれを取り戻したとして養取を正当化する論理としても使われていた。

この歌詞で〈托生〉について述べられている箇所は、以下の下りである。042無神吹賜托男花（男子を托生させてくれる神はいなかった）。044托得妖精古怪傷（怪物のような傷神が托生して産まれた）。072五月中中又托生（五月中に托生した）。073托落那覓定不好（どの家に托生しても必ず善くない）。076黄八托生哄苗帶（天網八敗鬼が托生してきて私を欺いて引きずり回した）。082不以托生轉犬兒（次の転生先では、必ず犬に生まれ変わるだろう）。083不以托生重轉陽（再び人として転生することはできない）。086生作犬兒牛馬屍（転生して、犬か牛馬の身となる）。087不以托生出世上 變成陰〔口→養〕現呻言（この世には転生できない。鬼となって遠吠えのように叫ぶだけである）。088不以托生二世修（二世に亘って再生することはできない）。092生作犬兒牛馬屍（死後転生するのは、犬か牛馬の身である）。123便是天仙落下凡（天仙がこの世に落ちてきてきたものだ）。126別國妖精來走胎（他国の怪物が入胎したのだ）。127外里傷神正變胎（外の傷神が入胎した）。

今回の歌詞で唱われているのは、人間界への転生ではなく、仏教的に言えば悪業による畜生界への転生（082, 086, 092）と、悪い神が人間界に転生する（044, 076, 087）といった、異なる存在への転生である。123, 126, 127の歌詞は、〈托生〉という語は使っていないが、悪神などの異界の存在が人間界に転生する話で、〈托生〉の観念に則っている。以前の報告では人間→人間という転生の例だけであったが、こうした人間→畜生、神→人間といった、異なる存在への転生の観念が以前からあったか否か、定かではない。ラオスやタイにおける上座部仏教の輪廻思想の影響もあったかもしれない。しかし、「托生」という観念は漢族にもあり<sup>(8)</sup>、こうした転生の観念は、もし上座部仏教の影響があったとしても、それ以前からミエンの世界観の一部を構成していたと考えられる。そうしてみると、この歌に見られるように、現在では人間以外への転生や人間以外の存在から人間への転生も考えられていることが分かるのである。

#### 4. 2 特徴的な修辞法について

もともと、歌においては親族名称の拡張的用法が顕著であったが、この歌においてはその極端な形態が見られる。父母を「爺娘」とするのは、漢語の一般的用法にもある<sup>(9)</sup>。しかし、この歌詞においては、〈姐〉という親族名称が、「母」や「父」「父母」を意味している。そうした歌詞を以下に示す。

017雨来又把姐娘遮（雨が降ってくるど父母は子供を庇う）。032抛爺抛姐去人覓（娘は父を捨て、母を捨てて、他人の家に婚入する）。082今世女花恶过姐（現在、娘は母親より悪い）。094千般教言不听姐（通常の教えを説くが、母の言葉を聞こうとしない）。097凄然不听姐娘言（どのようにしても、父母の言葉を聞か

ない)。098听得姐娘困世老（(娘の言うには）父母の言うことを聞いていると、夫無く年老いてしまう）。110一敗家中吃姐娘（第一に、家内で父母を食べてしまう）。123不是姐娘生身世（(母曰く）この娘は父母がこの世で生んだ身ではない）。152枉姐代劳幾歳年（父母は何年も無駄に苦労した）。

〈姐〉tsia'の親族名称の意味成分としては、①話者の②血縁、③女性、④同世代、⑤年上という成分で成り立っている。そのうち、「母」は①+②+③+⑤で、「父」と「父母」は①+②+⑤によって、それぞれの意味を示している。コンテキストに応じて、親族名称の近いカテゴリーで「母」「父」「父母」を表す換喩的な表現である。これは従来発表した歌<sup>(10)</sup>には見られなかったこの歌の特徴である。

## 5. 結語

この歌は実在のモデルがおり、その個人の行状を事細かに述べる物語故事歌の典型と言える歌である。表現が平板な歴史故事歌と比べると、口語・歌謡語の語彙が多く使われ、ミエンの歌の文彩を知るには良い資料である。また、この歌からミエンの転生観の一側面を知ることができる。

## 付 記

本稿は科学研究費（21K01078）による調査研究の成果である。

## 注

- (1) 吉野 晃 2016
- (2) 吉野 2022 : 117.
- (3) 「月」は歌詞の中ではput'と読んでいるが、ここは題名であって歌詞ではないので、口語で月を表すla:と読む。
- (4) しかし、これは原則であって、新たに書き直すときに最上世代を削除するのを怠ったりして、実際の〈家先単〉には十代以上の祖先名が載っていることがある。
- (5) Miles 1978: 432.
- (6) Miles 1973: 81.
- (7) Kandre and Lej 1965: 131.
- (8) 愛知大学中日大辞典編纂所（編）2010 : 1719.
- (9) 愛知大学中日大辞典編纂所（編）2010 : 1957.
- (10) 吉野 2016, 2017, 2018, 2019, 2020.

## 参考文献

- 愛知大学中日大辞典編纂所（編）2010『中日大辞典』第三版、東京：大修館。
- Kandre, P. and Lej, Tsan Kweij 1965 Aspects of wealth-accumulation, ancestor worship and household stability among the Iu Mien-Yao, in *Felicitation Volumes of Southeast-Asian Studies Presented to His Highness Prince Dhaninivat Kromamun Bidyalaph Bridhyakorn*, Bangkok: The Siam Society.
- Miles, D. 1973 Prophylactic medicine and kin units among Yao ancestor worshippers, *Mankind* 9(2) : 77-88.
- Miles, D. 1978 Yao spirit mediumship and heredity versus reincarnation and descent in Pulangka, *Man* (n.s.) 13: 428-443.
- 吉野 晃 2016「タイ北部のミエンにおける歌と歌謡語—『歌二娘古』発音と注釈—」廣田律子（編）『ミエン・ヤオの歌謡と儀礼』岡山：大学教育出版、pp.55-71.
- 吉野 晃 2017「タイ北部のミエンにおける歌と歌謡語（2）—『後生娘子歌』発音と注釈—」『東京学芸大学紀要 人文社会科学系Ⅱ』68, pp.47-58.
- 吉野 晃 2018「タイ北部のミエンにおける歌と歌謡語（3）—『過山榜圖』発音と注釈—」『東京学芸大学紀要 人文社会科学系Ⅱ』69, pp.73-84.

吉野: タイ北部のミエンにおける歌と歌謡語 (6)

- 吉野 晃 2019 「タイ北部のミエンにおける歌と歌謡語 (4) —『唐王歌』発音と注釈—」『東京学芸大学紀要 人文社会科学系Ⅱ』70, pp.105-129.
- 吉野 晃 2020 「タイ北部のミエンにおける歌と歌謡語 (5) —『寄朋友的歌』発音と注釈—」『東京学芸大学紀要 人文社会科学系Ⅱ』71, pp.33-58.
- 吉野 晃 2022 「定詞歌と即興歌の間に—タイ北部, ミエンの歌謡における歌詞の多様性—」『東京学芸大学紀要 人文社会科学系Ⅱ』73, pp.101-118.

## Songs and Song-Language of the Iu Mien (Yao) of Northern Thailand (6):

Phonological Description, Interpretation, Notion of Reincarnation and  
Rhetoric of “*Hm Hlaa Sieq Tsun Tshuat Taai Nyei Dzung*”

YOSHINO Akira\*

*Area Studies*

(Received for Publication; August 30, 2023)

### Abstract

In this article, I reported the text, its phonetic description, the notion of reincarnation found in the text, rhetoric and Japanese translation of “*Hm Hlaa Sieq Tsun Tshuat Taai Nyei Dzung*”, a song transmitted by the Mien in Thailand.

Keywords: Mien, Song, Song Language, Notion of Reincarnation, Rhetoric

---

\* Tokyo Gakugei University (4-1-1 Nukuikita-machi, Koganei-shi, Tokyo, 184-8501, Japan)